

opml2indesign

opml2indesign は、OPML 形式を InDesign 用に整形する XML スタイルシート (XSL) と、便利なタスクを設定した Gruntfile、セッティング済みの InDesign テンプレートでできたツールです。OmniOutliner、Tree、MindNodePro、Scapple 等の人気のエディタから出力した OPML 形式のデータを、InDesign のドキュメントへ自動組版することができます。

OmniOutliner

<http://www.omnigroup.com/omnioutliner>

Tree

<http://www.topoftree.jp/tree/>

opml2indesign.xsl

→ **ADOBE INDESIGN**

MindNode

<http://mindnode.com>

このドキュメントの本文は、実際に src/opml/DEMO.opml を Tree で編集しながら生成しています。

使い方

クイックスタート

InDesign を使って XSLT を適用する使い方です。最もシンプルな手順で流し込みが行えます。

OPML書類を作成

任意のソフトウェアを使い、OPML 形式のファイルを作成します。Tree、MindNodePro、Scapple などのマインドマッピングツールや、各種アウトラインエディタが対応しています。

OPMLファイルの拡張子を.xmlに変更

拡張子を書き換えると、InDesign が XML として解釈できるようになります。

InDesignテンプレートを開く

resources/ 以下の InDesign テンプレートには、8 ~ 12 レベルの見出しと本文用のスタイルが XML 構造にマップ済みです。CS4 の INDD 形式か、CS4 以降のすべてのバージョンで互換性のある IDML 形式のいずれかを使用できます。

- a4_eng_cs4.indd, a4_eng_cs4-cc.idml - 英語用のテンプレートです。
- a4_jpn_cs4.indd, a4_eng_cs4-dd.idml - 日本語用のテンプレートです。

InDesignでXMLを読み込む

「ファイル > XML を読み込み ...」から、先程拡張子を書き換えた XML ファイルを選択します。この時に「XSLT を適用」をチェックし、opml2indesign.xsl をスタイルシートとして適用します。

Grunt.jsを使う方法

Grunt.js を使うことで、拡張子の置き換えや XSL の適用を InDesign の外部で自動処理できます。OPML を直接エディタで編集しながら InDesign に反映できるため、より原稿の執筆に集中できるワークフローが実現可能です。

grunt.jsとxsltprocを使用できる状態にする

\$npm install を実行し、依存する node モジュールが利用可能な状態にしてください。xsltproc は、

MacOSX の場合は標準でインストールされています。

ディレクトリ src/opml 直下に OPML 書類を作成

grunt を実行

以下のタスクが実行されます。

- src/opml 以下のファイルを監視
- 変更があった場合は、XSLT を適用して build 以下へ出力

build 内に出力された XML ファイルを InDesign で読み込む

この場合では、XSLT を適用せずにそのまま読み込みを行なってください。Grunt が走り続けている間は、OPML ファイルに変更がある度に XML ファイルが再生成されます。このファイルに InDesign からリンクを設定することで、情報のリロードを簡単に行うことができるようになります。

トラブルシューティング

流し込んだテキストのスタイルがオーバーライド状態になってしまう場合

InDesign の仕様上、フレームグリッドヘタグ付きテキストを流し込んだ際、フレームグリッド自体のスタイルが優先的に適用されてしまうようです。以下の対処方法があります。

オーバーライドを全消去する場合

テキストフレーム内のテキストを「コマンド +A」ですべて選択し、段落スタイルパレットのメニューから「オーバーライドの消去」を実行します。

同じ XML ファイルを 2 回読み込む場合

テキストが流し込まれた後、もう一度同じファイルを同じ手順で読み込み直します。2 回目の読み込み時に、正しいスタイルが適用されます。

クレジット

ライセンス

opml2indexign は MIT ライセンスで配布されます。改変・再配布・商用利用は自由です。は MIT ライセンスで配布されます。改変・再配布・商用利用は自由です。

Copyright (c) 2014 y_hockey
Released under the MIT license
<http://opensource.org/licenses/mit-license.php>

著者

y_hockey

1988 年生まれ。多摩グラ中退のグラフィックデザイナー。印刷物／Web／電子書籍／モバイルアプリ／業務用アプリケーションといった分野のデザインに携わっています。

こんなのも作ってます。
<http://metroexits.nobody.jp/>